

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第5回

1. 実施日

令和3年6月19日（土）1、2限

2. 場所

331、332、333、334 教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川和余、佐々木啓成、中澤知里、宮崎雄史郎

5. 内容

各自が作成した「調査シート①」を持ち寄り、「研究報告書 Ver.1」をチームで作成する。

「研究報告書 Ver.1」作成の注意点

(1) 研究の動機・問題の背景は、

- ・研究の内容を理解するための必要な情報が書いてあるか。
- ・研究が必要な意義が書いてあるか。
- ・言葉の定義ができていないか。
- ・リサーチクエスチョンへの流れが理解できるか。

(2) 調査結果は客観的な事実を記述したものか。（個人の意見を書いていないか）

(3) 調査元は信頼できるか。（個人のブログなどはふさわしくない）

(4) 出典が明記されているか。『課題研究メソッド』pp.28-29を参照

準備物

事前に「研究報告書 Ver.1」を teams にアップしておく。手書き用に「研究報告書 Ver.1」を A3 に拡大印刷して用意する。

6. 学び

「研究報告書 Ver.1」の作成をとおして、①現状の理解 ②現状の確認・分析を行う。

また、各自の役割を明確にして、協働して課題研究に取り組む。

7. 次回への課題

「研究報告書 Ver.1」に基づいて中間発表を行うので、限られた時間でわかりやすく伝えることができるようにする。また、研究内容・調査結果についての質問に答えられるように関連資料を用意しておく。

8. 本時の振り返り

それぞれが「調査シート①」を用いて調べてきたことについて、発表、共有した後に、「調査シート①」の要約を「研究報告書 Ver.1」にまとめさせた。どの調査結果が研究の質を高めるのに有益かを話し合っていた。次回の中間発表に向けての事前打ち合わせも行った。